

新発田市 令和3年度 第7回定例記者会見

1 日 時 令和3年10月1日(金)午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 小学生へのPCR検査実施
- 成人式開催に向けた市独自の対策について
- 豊浦地域における新たな公共交通運行の開始
- 新発田市総合防災訓練の実施
- 『シバタいちじくフェア』を初開催
- パラスポーツ体験会&講演会の開催

【その他】

- 「自分が描く、自分のミライ」学生のためのライフデザイン講座開催
- 10月是新発田市健康づくり推進月間
- 秋季企画展「せきやひょうない関谷兵内が描いた新発田藩」
- 「文芸しばた」第47号の発刊

あいさつ

- 10月となり、いよいよ秋です。春は躍動感というイメージがありますが、秋は多面性です。読書、スポーツ、食欲と、多面性を持っているのが秋です。つまり人が一番過ごしやすい季節とも言えるのかもしれませんが。
- 神無月でもあります。出雲の国に神様が集まって、誰と誰を結婚させようか相談するというところで、地方の神様はいなくなるそうです。
- 個人的なことですが、下の子どもが11月に結婚することになりました。本来は昨年だったのですが、コロナの関係で1年送ったものです。なんとか開催できそうな状況ではありますが、それでも精一杯のコロナ対策を行います。県外からの親せきは呼ばない。友人関係も分け、席は4人、最大で5人とし、間隔をあけます。また招待者全員に抗原検査キットをお配りし、式に来る前に検査をしてもらいます。できる限りの対策をして一生に一度の式を祝いたいと思います。
- さて、岸田さんが新総裁になりました。岸田さんの特技は「聞く力」だそうです。確かに政治は耳を傾けることから始まりますので、岸田さんに同感します。しかし、国政、県政、市政、いずれも「声」という言葉を使いますが、大概、耳を傾けているのはノイズマイノリティということが多くあります。本来はサイレントマジョリティに耳を傾けることが大事ですが、ノイズが大きいと、マジョリティに聞こえてしまうことがあります。市民の声、国民の声として政治家が言っていることも、ノイズマイノリティに偏ることがあります。
- 「聞く力」も大事ですが、サイレントマジョリティなのかノイズマイノリティなのかを探す力も必要だということを岸田さんにもわかってほしいと思います。そして、コロナ禍、コロナの後の経済対策に向かっていただきたいと思います。
- 当市はおかげさまで新規感染者が少なくなって喜んでいますが、担当からは11月末までのワクチン接種は、ほぼ間違いなく完了できると聞いています。他所では、終了を早めるために予約なしでの接種、県では自宅療養者への食糧の配布を行うとのことでした。
- 一流の歌手は、美空ひばりのモノマネをしてから本物の自分を見つけると

います。モノマネ、二番煎じでも構わないので、良いと思うことはどんどんやるべきです。予約なしのワクチン接種についても指示を出しました。県の自宅療養者への食糧配布についても、市として手伝えることを研究させています。

○いずれにせよ、コロナはまだ続きますが、一応、落ち着きを見せたということで嬉しく思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、小学生への PCR 検査実施についてです。

○家庭内感染、とりわけ小学生の子どもたちがコロナの危険にさらされているという報道があります。新発田市でも保護者から小学生が感染するケースがあります。

○国の緊急事態宣言が解除されました。8月後半には、全国で日に2万人、2万5千人という、かつてない規模の新規感染者が発生していましたが、現在は3千人を切るような状況となっており、このままいけば第5波の終息を迎えるかもしれません。

○しかし、一方では、9月から学校が再開されて以来、20代や10代の感染者が増えているようであり、これからは、学校で感染し、それを家庭に持ち帰ることで感染が広がるというリスクに、気を付けていかなければなりません。

○特に、新型コロナワクチン接種の対象となっていない12歳未満の子どもたちの中で、集団感染が発生することのないよう、手洗い、消毒はもとより、感染を未然に防ぐための取組を万全なものとしていく必要があります。

○このため、市内の小学生約4,790名とその教職員に対し、PCR検査を実施したいと考えており、このための補正予算を、今9月定例会の最終日に追加提案いたします。

○保護者の皆様からの同意をいただきながらの実施を計画しておりますが、

検査の結果、陽性となった場合は、保健所の指示を仰いだうえで、学校休校など、必要な措置を行いたいと考えております。

○また、この一斉検査とは別に、子どもたちの中から新型コロナウイルスの感染者が出た際におきましても、行政検査の範囲から外れた方たちへの市独自の PCR 検査実施なども計画しております。

○コロナ禍におきましても、子どもたちの学ぶ機会は極力確保しなければなりません。学校の円滑な教育活動を支援し、感染症対策に対する保護者の皆様の不安を解消するために必要な取組でありますので、議会からの賛同をいただき、速やかに進めてまいりたいと考えております。

次に、成人式開催に向けた市独自の対策についてです。

○「成人式」は人生に一度しかない、大切な節目となるイベントであります。こちらでもコロナ禍によって開催を延期してきたところですが、11月20日(土)、21日(日)の2日間に分けて、市民文化会館で開催いたします。

○開催にあたりましては、新成人11名を含む、成人式実行委員会の皆さんが、参加する新成人やご家族、市民の健康と安全を考えながら、開催方法を検討してまいりました。そして、マスク着用や、検温・消毒などの基本的な対策の他に、3つの工夫により、皆様に安心して式典にご参加いただくことといたしました。

○1つ目は、新型コロナワクチン接種証明書の持参であります。2回の接種が済んでいる方は、当市をはじめとして、それぞれお住いの自治体が発行する証明書などをお持ちいただくようお願いいたします。

○2つ目は、未接種者へのワクチン接種実施であります。新成人限定のワクチン接種を成人式までの間に実施いたします。まだ接種が済んでいない方は、この機会に接種を受けていただきますようお願いいたします。

○3つ目は、抗原検査キットによる自己検査のお願いであります。1つ目、2つ目の対応が叶わない方をはじめ、新成人の対象者全員に対しまして、式典当日の朝、ご自身で検査をしていただいたうえでの参加をお願いいたし

ます。

- 参加される皆様にはお願いが多くなりますが、ご自身やご家族をはじめ、大切な方と共に晴れやかに「成人式」を迎えられるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、豊浦地域における新たな公共交通運行の開始についてです。

- 当市では、地域と地域をつなぎ、人が行き交う暮らしやすいまちを地域公共交通の目指すべき将来像と位置づけ、公共交通を取り巻く様々な課題に立ち向かいながら、これまで取組を進めてまいりました。
- 特に、近い将来自家用車を運転できなくなったときの移動手段に不安を抱く高齢者の皆様が多くいらっしゃる中で、交通弱者の移動手段を、いかにスピード感を持ちながら、かつ持続的に確保していくかが最大の課題であります。
- 超高齢化社会、そして、バスでは入ることのできない集落内も運行できる最適な形態を検討する中で、平成 30 年度から松浦地区で行った実証運行の結果から見出した、小型車両の活用を基本とした運行手法で、路線の中でメインとなる主路線は予約なしで運行し、利用者の少ない停留所については予約があった時のみ迂回して回るという、利用者の利便性と運行側の効率性、そして将来の持続性を考慮した、新発田版デマンド方式として全市に展開することといたしました。
- この度は、地域との協議が整った豊浦地域において、この新発田版デマンド方式による既存運行路線の見直し及び新規路線の開設を行い、計 2 路線の運行により、豊浦全地域をカバーする運行計画を設計いたしました。
- 持続可能な公共交通の実現は、地域の皆様の協力なくしては、なし得ません。地域の公共交通を地域自らで守ろうとする積極的な取組こそが公共交

通存続の鍵を握っております。地域の皆様の積極的なご利用などに応じて更なる見直しを実施していきたいと考えております。

次に、新発田市総合防災訓練の実施についてです。

- 明後日、3日（日）に、豪雨による土砂災害を想定した総合防災訓練を実施します。今回の訓練は、東中学校及び五十公野コミュニティセンターを会場とし、新型コロナウイルス対策も視野に入れた避難所開設、運営などの訓練を、五十公野地区避難所運営委員会をはじめ、市民の皆様と一つ一つ確認しながら実施いたします。
- また、屋外では、新潟県警、県立新発田病院、新発田広域消防署をはじめ、新発田ガスや東北電力など、27機関、約250名の皆さんにも加わってもらい、倒壊した建物からの救助訓練や怪我人をトリアージ（※）した救急搬送など、本番さながらの訓練を予定しております。
- 昨年の7月豪雨、そして今年も8月23日の豪雨と、当市においても毎年のように極端な雨量を記録しており、局所的ではありますが、被害が生じているところでもあります。
- 河川改修や高性能ポンプの整備など、災害に対する抜本的な対策は当然進めていかなければなりません。しかし、一番肝心なのは、皆様お一人おひとりが、過去の教訓を忘れることなく、「備えあれば憂いなし」という心構えで、訓練を繰り返し行うこと、ご自身がお住まいの土地にはどんな災害の発生が想定されるかをハザードマップなどで知ること。そして、災害時には安全な場所にしっかりと避難していただくことです。
- 訓練で見た反省点、課題を今後に活かしていくためにも、是非、大勢の皆さんが、それぞれの立場でしっかりと訓練に取り組んでくださいますようお願いいたします。

（※）トリアージ：重症度や治療緊急度に応じた「傷病者の振り分け」

次に、『シバタいちじくフェア』の開催についてです。

- 当市五十公野地区で古くから栽培されてきた日本イチジクの「^{ほうらいし}蓬萊柿」でありますが、かつてはシロップ漬け缶詰の原材料としてたくさん生産されており、現在も大変なじみの深い、当市の特産品であります。
- そのまま食べておいしいのはもちろん、甘露煮やジャムにしても味がよく、市内の和洋菓子店でも、イチジクを使ったお菓子が多く販売されております。
- 既に9月25日から始まっておりますが、この蓬萊柿にスポットを当てた『シバタいちじくフェア』を今月末まで開催いたします。市内16店の和洋菓子店が、それぞれ腕によりをかけたイチジクのスイーツを販売いたしますので、是非ご賞味ください。シールを集めて応募していただければ、食事券などの景品も抽選で当たります。いろいろなお店のイチジクスイーツの食べ比べをお楽しみください。
- また、市内の経済活性化に関連しましてもう一つ、11月に実施を予定しております、『新発田牛と地酒のキャンペーン』についてご案内いたします。
- こちらのキャンペーンにつきましては、今後、詳細を決定してまいります。月岡温泉や市内飲食店が、新発田牛を使ったメニューとそれにマッチする新発田の地酒をセットメニューとして提供していただくことを計画しております。
- 新潟県からの補助金を活用して実施するものでありますが、関連する予算を、^{こん}今9月定例会の最終日に追加提案いたします。
- コロナ禍により、外出自粛や消費減退などの影響が続いておりますが、県が進める「にいがた安心なお店応援プロジェクト」などに従い、しっかりと感染予防対策をとりながら、まちを元気にしていく取組でありますので、議会からも賛同いただきたいと思います。

最後に、パラスポーツ体験会 & 講演会の開催についてです。

- 東京オリンピック・パラリンピックが開催され、たくさんの日本人選手、そして地元出身選手の活躍に感動させてもらったことは記憶に新しいところです。
- スポーツ機運が盛り上がっているこのタイミングで、市民の皆様といっしょに、スポーツやパラスポーツの在り方について考えるイベントを計画いたしました。
- 講師には、スポーツニュースや報道番組のコメンテーターとしても活躍されている二宮清純にのみやせいじゆん氏、そして、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の顧問を務められた伊藤数子氏という実力派のお二人をお迎えし、新発田市カルチャーセンターで講演会を行います。
- 講演会に併せまして、車いすバスケットボールの競技用車いすを操作していただく、パラスポーツ体験会も実施いたします。実際に手に触れていただくことで、皆様のパラスポーツへの理解が一層深まるものと思います。是非多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。